

# 大石紬伝統工芸館 染織ワークショップ 実施カレンダー

(2023年4月発行)

大石紬伝統工芸館では令和5年度、初心者の方から経験者の方まで楽しんでいただける染織に関するワークショップを実施いたします(対象:10歳以上)。

ワークショップ	実施日	時間	実施内容
<b>たて機</b> 定員6名 <講師> フランス政府認定 パリ綴れ織り協会 牛尾 優子 [連続ワークショップ]	2023年6月7日(水)	10:30 ~ 15:30	基本の織り/タピスリーについて
	2023年7月12日(水)		基本の織り/たて機で作る絵画
	2023年9月6日(水)		絵画を織る/経糸は生活の張り
	2023年10月4日(水)		絵画を織る/絹芸術のつづれ織り
	2023年11月15日(水)		絵画を織る/飾ることで心豊かに
	2023年12月6日(水)		仕上げ/楽しい時間の積み重ね
<b>草木染め</b> 定員8名 <講師> 草木染研究家・草木工房主宰 山崎 和樹	2023年7月5日(水)	11:00 ~ 14:30	日本茜で染める大石紬の座繰り糸
<b>腰機</b> 定員6名 <講師> 手織工房 SOX 主宰 工藤 いづみ [連続ワークショップ]	2023年7月20日(木)	10:30 ~ 15:30	腰機に経糸を掛ける/(動画)ラオスの腰機
	2023年9月21日(木)	11:00 ~ 15:30	布を織る/(動画)インドネシアの腰機
	2023年10月19日(木)	15:30	布を織る/(動画)中南米の腰機
<b>高機(和機)</b> 各日1名 <講師> 大石紬手織組合研究生 栗林 茜 [単発ワークショップ]	2023年12月3日(日)	10:30 ~ 15:30	山梨県指定伝統工芸品・大石紬(手織り絹織物)を織る
	2023年12月17日(日)		
	2024年1月7日(日)		
	2024年1月21日(日)		
	2024年2月4日(日)		
	2024年2月18日(日)		

## 【お申し込み方法】

お電話または必要事項を記入したeメールにてお1人ずつお申し込みください(お申し込みが参加人数を上回る場合は抽選となります)。参加の可否は、ワークショップ開始2週間~10日前を目処に個別にご連絡差し上げます。

※単発参加可能なワークショップは空席がある場合のみ大石紬伝統工芸館に確認の上、当日参加も受付可。

[お申し込み時必要事項]

お名前、住所、電話番号、参加希望ワークショップ名、(単発の場合)参加希望日

## 【お申し込み・お問い合わせ先】

<電話> 大石紬伝統工芸館 TEL:0555-76-7901 (10時~16時 火曜日定休)

<eメール> info@oishi-tsumugi.com

**【たて機で織る絵画（全6回）】** 連続. フランス政府認定パリ綴れ織り協会関東支部理事 牛尾優子

緯糸に大石紬では帯の緯糸として使う絹のキビソ糸を用い、ヨーロッパの伝統的な織物タピスリー（タペストリー）の技法を使って織る全6回の連続ワークショップです。

講師は、フランスで伝統技術を習得し、帰国後制作と技術伝承を続けています。この講座では、宮殿・古城を飾るタピスリーのお話も交え、基本的な図形の織り方を学びながら飾り物を織ります。

<参加費>1回あたり4,000円 <持ち物>昼食、メモを取りたい方は筆記道具

※全6回参加者を優先しますが、空席がある場合のみ単発での参加も可能です

**【日本茜で染める大石紬の座繰り糸】** 単発. 草木染研究家・草木工房主宰 山崎和樹

日本では古代から「赤」を染める染料として広く使われていた日本茜。鎧や日の丸の染めにも重用されてきましたが、染めの難しさや染料としての入手が困難となったことから現在では大変貴重な染料となってしまいました。今回は、その日本茜を使用して、大石紬の座繰り糸（太糸）を染めます。

<参加費>7,000円 <持ち物>エプロン、ハンドタオル、昼食、メモを取りたい方は筆記道具

※染めた糸は、大石紬伝統工芸館で実施する織りのワークショップで使用することができます（希望者はワークショップ当日にお申し出ください）。

**【腰機で織る絹の布（全3回）】** 連続. 手織工房 SOX 主宰 工藤いづみ

世界でも最も古い方式の手織機である腰機に大石の座繰り糸を掛けて、幅15センチ、長さ30~40センチほどの絹の布を織る全3回の連続ワークショップです。毎回世界の腰機に関する動画視聴やお話も交えながら、初回は経糸を掛けて、後半2回で布を織り上げます（動画視聴は30分程度）。

<参加費>1回あたり6,000円 <持ち物>昼食、筆記具、ハサミ

※全3回参加可能な方のみお申し込みください。

※低い椅子に座って腰で経糸を張った状態で作業を行います。動きやすい服装でお越しください。

※長時間の座り姿勢が厳しい方は適宜休憩をとりながら進めていただけます。

**【高機で織る大石紬（全6回）】** 単発. 大石紬手織組合研究生 栗林茜

高機を使って山梨県指定伝統工芸品・大石紬を織るワークショップ。経糸（絹の座繰り糸）がかかった状態の高機で、緯糸には着物に使われる玉糸または帯に使われる太めの座繰り糸を用いて大石紬の手織りを体験していただきます。出来上がりは幅20センチ、長さは20センチ~40センチほど（選んだ糸や織り進める速度によって異なります）。

<参加費>5,000円 <持ち物>昼食

※織り上げた布は、全回終了後に大石紬伝統工芸館にて手渡し、または郵送にてお届けいたします。